

令和6年2月29日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



東希小だより 3月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

年度末をむかえて

校長 井島 恵子

いよいよ明日からは3月。春風が心地よく吹き抜ける季節を迎えます。着任以来、東希小の子どもたちがご家庭や地域の皆様のお力添えの元、安心安全で豊かな学校生活を送っていることを感じ続けた一年でした。学習支援や読み聞かせ、花壇の手入れ、登下校時の見守り、飼育動物のお世話等、数えきれないほどの場面で学校を支えていただいたいただき、改めて御礼申し上げます。今年度は5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の第5類に移行したため、コロナ以前の教育活動に持続可能な形で少しずつ戻して参りました。10歳前後の子どもたちにとって、人生の中でコロナ禍の3年間は占めるウエイトは大人とは比べものにならないほど大きく、また1~4年生はコロナ禍以前の学校生活を経験していないこともあり、活動に不安を感じる場面も見られました。そのようなときにもご家庭で温かく見守っていただいたり、また学校行事の運営にあたってご理解ご協力をいただいたりしたことに、心より感謝申し上げます。

残りの登校日数も6年生は13日、1~5年生は16日となりました。このところ校内では、8日に予定されている「6年生を送る会」に向けて、様々な準備が進められています。会を彩る装飾の作成、学年の出し物や進行の練習など、それぞれの発達段階に応じてお世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えようと一生懸命に取り組んでいます。飾りづくりの様子を見ていると、子どもたちの手の器用さにしばしば驚かされ、また、たくさんの人の前で話す姿はとても堂々としています。

さらに5年生は1月以降、次の最高学年として6年生からバトンを引き継ぐ活動が目白押しです。幼稚園保育園との交流、代表委員会の運営、東希小の伝統であるなかよし班のお別れ会、縦割りリーダーの引き継ぎ式。それらの活動を通して5年生の表情はどんどん逞しくなり、東希小を引っ張っていく存在になることを自覚し、成長していることが感じられます。

6年生は体育館での卒業式練習も始まり、いよいよ卒業までのカウントダウンです。当日は在校生は参加できませんが、14日の総合練習で5年生にその立派な旅立ち直前の姿を見てもらいます。最高学年としての心意気までも伝わる時間になることを願っています。

一方で3月は次のステップに向かう不安な時期でもあります。どのお子さんも希望をもって次の学年に進めるよう、教職員一同支援を続けて参ります。これから先も学校とご家庭と地域の皆様がチームとなって、それぞれの役割を担いながら、子どもたちの前向きな気持ちを育ていけるよう、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

